

6. 農薬の適用病害虫の範囲、使用方法及び使用期限

作物名	使用目的	使用濃度	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジベレリンを含む農薬の総使用回数
ぶどう (ヒムロッド・シートレスを除く 2 倍体 米国系品種) [無核栽培]	無種子化 果粒肥大促進	第 1 回目 ジベレリン 100ppm 第 2 回目 ジベレリン 75～ 100ppm	果房散布 の場合は 30～100 L/10a	満開予定日 約 14 日前 (第 1 回目)及び 満開約 10 日後 (第 2 回目)	2 回、但し降雨等に より再処理を行う 場合は合計 4 回以内	第 1 回目：花房浸 漬 第 2 回目：果房浸 漬 又は果房散布	2 回、但し降雨等に より再処理を行う 場合は合計 4 回以内
ぶどう (ヒムロッド・シートレス)	果粒肥大促進	ジベレリン 100ppm	—	着粒後	1 回、但し降雨等に より再処理を行う 場合は合計 2 回以内	果房浸漬	1 回、但し降雨等に より再処理を行う 場合は合計 2 回以内
ぶどう (テラカエ) [無核栽培]	無種子化 果粒肥大促進	第 1 回目 ジベレリン 100ppm 第 2 回目 ジベレリン 75～ 100ppm	果房散布 の場合は 30～100 L/10a	満開予定日 約 14 日前 (第 1 回目) 及び 満開約 10 日後 (第 2 回目)	2 回、但し降雨等に より再処理を行う 場合は合計 4 回以内	第 1 回目：花房浸漬 第 2 回目：果房浸漬 又は果房散布	2 回、但し降雨等に より再処理を行う 場合は合計 4 回以内
				満開予定日 18～14 日前 (第 1 回目) 及び 満開約 10 日後 (第 2 回目)		第 1 回目：花房浸漬 (ホルクロルフェニロン 1～5 ppm 液に加用) 第 2 回目：果房浸漬 又は果房散布	
ぶどう (キャンベルアーリー を除く 2 倍体 米国系品種) [有核栽培]	果粒肥大促進	ジベレリン 50ppm	—	満開 10～15 日後	1 回、但し降雨等に より再処理を行う 場合は合計 2 回以内	果房浸漬	1 回、但し降雨等に より再処理を行う 場合は合計 2 回以内
ぶどう (キャンベルアーリー) [有核栽培]	果房伸長促進	ジベレリン 3～5ppm	30～100 L/10a	満開予定日 約 20～30 日前 (展葉 3～5 枚時)	1 回	花房散布	2 回以内、但し降雨 等により再処理を 行う場合は 合計 3 回以内
ぶどう (2 倍体 欧州系品種) [無核栽培]	無種子化 果粒肥大促進	第 1 回目 ジベレリン 25ppm 第 2 回目 ジベレリン 25ppm	—	満開時～満開 3 日 後 (第 1 回目)及び 満開 10～15 日後 (第 2 回目)	2 回、但し降雨等に より再処理を行う 場合は合計 4 回以内	第 1 回目：花房浸漬 第 2 回目：果房浸漬	3 回以内、但し降雨 等により再処理を 行う場合は 合計 5 回以内
		ジベレリン 25ppm		満開 3～5 日後(落花期)	1 回、但し降雨等に より再処理を行う 場合は合計 2 回以内	花房浸漬 (ホルクロルフェニロン 10ppm 液に加用)	
ぶどう (キャンベルアーリー) [有核栽培]	果房伸長促進	ジベレリン 3～5ppm	30～100 L/10a	展葉 3～5 枚時	1 回	花房散布	
ぶどう (ヒロハブルグを 除く 2 倍体 欧州系品種) [有核栽培]	果粒肥大促進	ジベレリン 25ppm	—	満開 10～20 日後	1 回、但し降雨等に より再処理を行う 場合は合計 2 回以内	果房浸漬	1 回、但し降雨等に より再処理を行う 場合は合計 2 回以内
ぶどう (ヒロハブルグ) [有核栽培]		ジベレリン 50～ 100ppm	果房散布 の場合は 70～80 L/10a	満開 10～15 日後		果房浸漬又は 果房散布	
ぶどう (キングテラ、 ハニードレス、 BK シートレスを 除く 3 倍体品種)	着粒安定 果粒肥大促進	第 1 回目 ジベレリン 25～50ppm 第 2 回目 ジベレリン 25～50ppm	—	満開時～満開 3 日 後 (第 1 回目)及び 満開 10～15 日後 (第 2 回目)	2 回、但し降雨等に より再処理を行う 場合は合計 4 回以内	第 1 回目：花房浸漬 第 2 回目：果房浸漬	3 回以内、但し降雨 等により再処理を 行う場合は 合計 5 回以内
		ジベレリン 3～5ppm		30～100 L/10a	展葉 3～5 枚時	1 回	

作物名	使用目的	使用濃度	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジベレリンを含む農薬の総使用回数
ぶどう (BK シードレス)		第1回目 ジベレリン 25～50ppm	—	満開時～満開3日後 (第1回目)及び 満開10～15日後 (第2回目)	2回、但し降雨等により再処理を行う場合は合計4回以内	第1回目：花房浸漬 第2回目：果房浸漬	2回以内、但し降雨等により再処理を行う場合は合計4回以内
		ジベレリン 100ppm		満開3～6日後	1回、但し降雨等により再処理を行う場合は合計2回以内	花房又は果房浸漬	
ぶどう (キングデラ)	着粒安定 果粒肥大促進	第1回目 ジベレリン 50ppm 第2回目 ジベレリン 50～ 100ppm	果房散布 の場合は 50～100 L/10a	満開時～満開3日後 (第1回目)及び 満開10～15日後 (第2回目)	2回	第1回目：花房浸漬 第2回目：果房浸漬 又は果房散布	2回
ぶどう (ハニーシードレス)		ジベレリン 100ppm	—	満開3～6日後	1回、但し降雨等により再処理を行う場合は合計2回以内	花房又は果房浸漬	1回、但し降雨等により再処理を行う場合は合計2回以内
ぶどう (サニールージュを 除く巨峰系 4倍体品種) [無核栽培]	無種子化 果粒肥大促進	第1回目 ジベレリン 12.5～25ppm	—	満開時～満開3日後 (第1回目)及び 満開10～15日後 (第2回目)	2回、但し降雨等により再処理を行う場合は合計4回以内	第1回目：花房浸漬 第2回目：果房浸漬	3回以内、但し降雨等により再処理を行う場合は合計5回以内
		ジベレリン 25ppm		満開3～5日後 (落花期)	1回、但し降雨等により再処理を行う場合は合計2回以内		
	無種子化	ジベレリン 12.5～ 25ppm	満開時～満開3日後	1回、但し降雨等により再処理を行う場合は合計2回以内	花房浸漬 (満開10～15日後に ホルクロルフエニユロンによる 果粒肥大促進処理を行うこと)		
	果房伸長促進	ジベレリン 3～5ppm	30～100 L/10a	展葉3～5枚時	1回	花房散布	
ぶどう (サニールージュ) [無核栽培]	無種子化 果粒肥大促進	第1回目 ジベレリン 12.5～25ppm	—	満開時～満開3日後 (第1回目)及び 満開10～15日後 (第2回目)	2回、但し降雨等により再処理を行う場合は合計4回以内	第1回目：花房浸漬 第2回目：果房浸漬	
		ジベレリン 25ppm		満開3～5日後 (落花期)	1回、但し降雨等により再処理を行う場合は合計2回以内	花房浸漬 (ホルクロルフエニユロン 10ppm 液に加用)	
	無種子化	ジベレリン 12.5～ 25ppm	満開時～満開3日後	1回、但し降雨等により再処理を行う場合は合計2回以内	花房浸漬 (満開10～15日後に ホルクロルフエニユロンによる 果粒肥大促進処理を行うこと)		
	果房伸長促進	ジベレリン 3～5ppm	30～100 L/10a	展葉3～5枚時	1回	花房散布	
	着粒密度低減 果粒肥大促進	第1回目 ジベレリン 25ppm 第2回目 ジベレリン 25ppm	—	満開予定日14～20 日前(第1回目)及び 満開10～15日後 (第2回目)	2回、但し降雨等により再処理を行う場合は合計4回以内	第1回目：花房浸漬 (ホルクロルフエニユロン 3ppm 液に加用) 第2回目：果房浸漬	

作物名	使用目的	使用濃度	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジベレリンを含む農薬の総使用回数
ぶどう(巨峰) [有核栽培] ぶどう (ルビーロマン) [有核栽培] ぶどう (ハービーナス) [有核栽培]	果粒肥大促進	ジベレリン 25ppm	—	満開 10～20 日後	1 回、但し降雨等により再処理を行う場合は合計 2 回以内	果房浸漬	1 回 但し降雨等により再処理を行う場合は合計 2 回以内
ぶどう(高尾) ぶどう (ふくしずく)		ジベレリン 50～ 100ppm		満開時～満開 7 日後		花房又は果房浸漬	
ぶどう (あづましずく)		第 1 回目 ジベレリン 25～50ppm 第 2 回目 ジベレリン 50ppm		満開時 (第 1 回目) 満開 4～13 日後 (第 2 回目)	2 回以内、但し降雨等により再処理を行う場合は合計 4 回以内	果房浸漬	
かんきつ(苗木、ただし、温州みかんを除く)	花芽抑制による樹勢の維持	ジベレリン 25～50ppm	50～250 L/10a	12～3 月	1 回	立木全面散布 又は枝別散布	1 回
かんきつ(不知火、ぼんかん、かぼす、清見、はるみ、ワットネブル、日向夏、すだち、平兵衛酢、長門ユズ柑(無核)、温州みかん、きんかん、紅まどんなを除く)		ジベレリン 2.5ppm	200～700 L/10a	収穫後～3 月		立木全面散布 又は枝別散布 (マシン油乳剤 60～80 倍液に加用)	
		ジベレリン 10ppm	50～250 L/10a	収穫直後～ 収穫約 1 ヶ月後		立木全面散布 又は枝別散布 (プロットロジヤモン 2000 倍液に加用)	
		ジベレリン 25～50ppm				立木全面散布 又は枝別散布	
		落果防止	ジベレリン 10ppm	50～100 L/10a		開花始め～ 満開 10 日後	
不知火 はるみ 紅まどんな	花芽抑制による樹勢の維持	ジベレリン 2.5ppm	200～700 L/10a	収穫後～3 月	立木全面散布 又は枝別散布 (マシン油乳剤 60～80 倍液に加用)	3 回以内	
		ジベレリン 10ppm	50～250 L/10a	収穫直後～ 収穫約 1 ヶ月後	立木全面散布 又は枝別散布 (プロットロジヤモン 2000 倍液に加用)		
		ジベレリン 25～50ppm	50～100 L/10a	開花始め～ 満開 10 日後	立木全面散布 又は枝別散布		
	落果防止	ジベレリン 10ppm			散布 散布(プロットロジヤモン 2000 倍液に加用)		
	水腐れ軽減	ジベレリン 0.5～1ppm	50～500 L/10a	着色終期 但し、収穫 7 日前まで	果実散布		

作物名	使用目的	使用濃度	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジベレリンを含む農薬の総使用回数
ぼんかん	花芽抑制による樹勢の維持	ジベレリン 2.5ppm	200～700 L/10a	収穫後～3月	1回	立木全面散布 又は枝別散布 (マシン油乳剤 60～80 倍液に加用)	1回
		ジベレリン 10ppm	50～250 L/10a	収穫直後～ 収穫約1ヶ月後		立木全面散布 又は枝別散布 (プロヒトロジヤモン 2000 倍液に加用)	
	ジベレリン 25～50ppm	50～100 L/10a	開花始め～ 満開10日後	立木全面散布 又は枝別散布			
	ジベレリン 10ppm			散布(プロヒトロジヤモン 2000倍液に加用)			
	落果防止	ジベレリン 0.5ppm	50～500 L/10a	着色始期～ 4分着色期 但し、収穫21日前まで		果実散布	
長門ユズキ (無核)	花芽抑制による樹勢の維持	ジベレリン 10ppm	50～250 L/10a	収穫直後～ 収穫約1ヶ月後	立木全面散布 又は枝別散布 (プロヒトロジヤモン 2000 倍液に加用)	1回	
		ジベレリン 25～50ppm	50～100 L/10a	開花始め～ 満開10日後	立木全面散布 又は枝別散布		
	落果防止	ジベレリン 10ppm			散布(プロヒトロジヤモン 2000倍液に加用)		
	着果安定	ジベレリン 50ppm	開花期～ 開花終期	花又は 果実散布			
	果皮の 緑色維持	ジベレリン 10～25ppm	50～400 L/10a	収穫予定 14～30日前	果実散布		
すだち	花芽抑制による樹勢の維持	ジベレリン 10ppm	50～250 L/10a	収穫直後～ 収穫約1ヶ月後	立木全面散布 又は枝別散布 (プロヒトロジヤモン 2000 倍液に加用)	1回	
		ジベレリン 25～50ppm	50～100 L/10a	開花始め～ 満開10日後	立木全面散布 又は枝別散布		
	落果防止	ジベレリン 10ppm			散布(プロヒトロジヤモン 2000倍液に加用)		
	果皮の 緑色維持	ジベレリン 5～25ppm	50～400 L/10a	収穫予定 7～30日前	果実散布		
平兵衛酢 かぼす	花芽抑制による樹勢の維持	ジベレリン 10ppm	50～250 L/10a	収穫直後～ 収穫約1ヶ月後	立木全面散布 又は枝別散布 (プロヒトロジヤモン 2000 倍液に加用)	1回	
		ジベレリン 25～50ppm	50～100 L/10a	開花始め～ 満開10日後	立木全面散布 又は枝別散布		
	落果防止	ジベレリン 10ppm			散布(プロヒトロジヤモン 2000倍液に加用)		
	果皮の 緑色維持	ジベレリン 10～25ppm	50～400 L/10a	収穫予定 14～30日前	果実散布		

作物名	使用目的	使用濃度	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジベレリンを含む農薬の総使用回数
ワシントンネブル	花芽抑制による樹勢の維持	ジベレリン 2.5ppm	200~700 L/10a	収穫後~3月	1回	立木全面散布 又は枝別散布 (マシ油乳剤 60~80 倍液に加用)	1回
		ジベレリン 10ppm	50~250 L/10a	収穫直後~ 収穫約1ヶ月後		立木全面散布 又は枝別散布 (プロトロジヤモン 2000 倍液に加用)	
		ジベレリン 25~50ppm				立木全面散布 又は枝別散布	
	落果防止	ジベレリン 500ppm	30~40 L/10a	満開 10~20 日後 の幼果期		幼果に散布	
日向夏	花芽抑制による樹勢の維持	ジベレリン 2.5ppm	200~700 L/10a	収穫後~3月	1回	立木全面散布 又は枝別散布 (マシ油乳剤 60~80 倍液に加用)	1回
		ジベレリン 10ppm	50~250 L/10a	収穫直後~ 収穫約1ヶ月後		立木全面散布 又は枝別散布 (プロトロジヤモン 2000 倍液に加用)	
		ジベレリン 25~50ppm				立木全面散布 又は枝別散布	
	無種子化 落果防止	ジベレリン 300~ 500ppm	30~40 L/10a	満開 7~10 日後		果実散布	
清見	花芽抑制による樹勢の維持	ジベレリン 2.5ppm	200~700 L/10a	収穫後~3月	1回	立木全面散布 又は枝別散布 (マシ油乳剤 60~80 倍液に加用)	1回
		ジベレリン 10ppm	50~250 L/10a	収穫直後~ 収穫約1ヶ月後		立木全面散布 又は枝別散布 (プロトロジヤモン 2000 倍液に加用)	
		ジベレリン 25~50ppm				立木全面散布 又は枝別散布	
	落果防止	ジベレリン 10ppm	50~100 L/10a	開花始め~ 満開 10 日後		散布 散布(プロトロジヤモン 1000~2000 倍液に加 用)	
きんかん	花芽抑制による樹勢の維持	ジベレリン 2.5ppm	200~700 L/10a	収穫後~3月	1回	立木全面散布 又は枝別散布 (マシ油乳剤 60~80 倍液に加用)	1回
		ジベレリン 10ppm	50~250 L/10a	収穫直後~ 収穫約1ヶ月後		立木全面散布 又は枝別散布 (プロトロジヤモン 2000 倍液に加用)	
		ジベレリン 25~50ppm				立木全面散布 又は枝別散布	
	落果防止	ジベレリン 10ppm	50~100 L/10a	開花始め~ 満開 10 日後		散布 散布(プロトロジヤモン 2000 倍液に加用)	
	着果安定	ジベレリン 300ppm	30~60 L/10a	一番花開花期		花に散布	

作物名	使用目的	使用濃度	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジベレリンを含む農薬の総使用回数
温州みかん (苗木)	花芽抑制による樹勢の維持	ジベレリン 25～50ppm	50～250 L/10a	11～1月		立木全面散布 又は枝別散布	1回
		ジベレリン 10ppm				立木全面散布 又は枝別散布 (プロトロジヤモン 1000～2000倍液に加用)	
		ジベレリン 2.5ppm	200～700 L/10a			立木全面散布 又は枝別散布 (マシン油乳剤 60～80倍液 又は展着剤に加用)	
温州みかん	花芽抑制による樹勢の維持	ジベレリン 25～50ppm	50～250 L/10a	収穫直後～ 収穫約1ヶ月後	1回	立木全面散布 又は枝別散布	3回以内
		ジベレリン 10ppm				立木全面散布 又は枝別散布 (プロトロジヤモン 1000～2000倍液に加用)	
		ジベレリン 2.5ppm	200～700 L/10a			11～1月 但し、収穫後	
	落果防止	ジベレリン 25～50ppm	50～100 L/10a	開花始め～ 満開 10日後		散布	
		ジベレリン 10ppm				散布(プロトロジヤモン 1000～2000倍液に加用)	
浮皮軽減	ジベレリン 1～5ppm	100～400 L/10a	収穫予定日の3ヶ月前 但し、収穫 45 日前まで		果実散布 (プロトロジヤモン 1000～2000倍液に加用)		
びわ (3倍体)	着果安定 果実肥大促進	第1回目 ジベレリン 200ppm 第2回目 ジベレリン 200ppm	—	満開予定日約7日前 ～満開時(第1回目) 及び第1回目処理後 35～60日(第2回目)	2回	ホルコルフエニロン 20ppm液に加用 第1回目：花房浸漬 第2回目：果房浸漬	2回
すもも(貴陽)	着果安定	ジベレリン 100～ 200ppm	20～50 L/10a	満開 20～30日後 (第1回目)満開 50～60 日後(第2回目)		果実散布	
かき	落果防止	ジベレリン 12.5～ 200ppm	30～100 L/10a	満開 10日後	1回	幼果及び へたに散布	1回
アセロラ	着粒安定	ジベレリン 25ppm	100～400 L/10a	開花期	1花当たり 1回	花に散布	1花そう当り 3回以内
野菜類	発芽促進	ジベレリン 50～ 200ppm	—	は種前	1回	種子浸漬	1回
みつば (軟化栽培 を除く)	生育促進	ジベレリン 10ppm	50～100 L/10a	本葉 2～3枚時 (第1回目)とその2 週間後(第2回目)但 し、収穫 14 日前まで	2回	葉面散布	3回以内(種子へ の処理は1回以 内、は種後は2回 以内)
みつば (軟化栽培)		ジベレリン 20～50ppm		根株伏込時	1回	根株上面に散布	2回以内(種子へ の処理は1回以 内、根株伏込時 は1回以内)
トマト	空どう果防止	ジベレリン 10ppm	1花房 当り 5mL	開花時	1花房当り 1回	花房散布 (トマト落果防止剤と併用)	種子への処理は1 回、1花房当り1 回
なす	着果数増加	ジベレリン 10～50ppm	100～150 L/10a		1回	葉面散布	2回以内(種子へ の処理は1回以 内、は種後は1 回以内)

作物名	使用目的	使用濃度	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジベレリンを含む農薬の総使用回数
さやいんげん (矮性(促成又は半促成栽培))	節間伸長促進	ジベレリン 5ppm	1株当り 2mL	本葉 0.5~1.5枚 展開時	2回以内	茎頂部散布	3回以内(種子への処理は1回以内、は種後は2回以内)
しそ (花穂)	穂の伸長促進 花径の伸長促進		50L/10a	出穂期 但し、収穫5日前まで		茎葉散布	
いちご (促成栽培)	着果数増加 熟期促進	ジベレリン 10ppm	1株当り 5mL	休眠に入る直前 (冬場の低温期)	1株当り 6回以内	茎葉全面散布	1株当り 10回以内
いちご	果柄の伸長促進			頂花の出蕾直後 ~開花直前		1花房 当り1回	
いちご (親株床)	ランナー発生促進	ジベレリン 50ppm	1株当り 10mL	採苗時ランナー発生直前~ 発生初期	1株当り1回	茎葉散布	1株当り1回
メロン	着果促進	ジベレリン 200ppm	1花当り 2~5mL	開花前日~翌日	1花当り1回	散布(4-CPA剤50倍 液に加用)	種子への処理は1回、 1花当り1回
うど (春うど)	休眠打破による 生育促進	ジベレリン 50ppm	1株当り 20~25mL	伏込時	1回	根株散布	1回
		ジベレリン 50~ 100ppm	—			根株浸漬	
たらのき (促成栽培)	萌芽促進	ジベレリン 50ppm	100~ 200mL/m <sup>2</sup>			駒木散布	
ふき	生育促進	ジベレリン 25ppm	50~300 L/10a	葉数3~4枚時 (草丈10~30cm頃)		全面散布	
セリ	生育促進 肥大促進	ジベレリン 50~ 100ppm	20~200 L/10a	収穫予定7~20日前		葉面散布	2回以内(種子への処理は1回以内、は種後は1回以内)
畑わさび	花茎の抽出時期 促進及び 発生量増加	第1回目 ジベレリン 100ppm 第2回目 ジベレリン 100ppm	1株当り 2mL	花芽分化後の10月 下旬(第1回目)及び 第1回目処理後 約10日後の11月 上旬(第2回目) 但し、収穫60日前まで	2回	株の中心部に散布	3回以内(種子への処理は1回以内、は種後は2回以内)
ばれいしょ	休眠打破による 萌芽促進 及び小粒いも または全粒 種いもの増収	ジベレリン 5~ 10ppm	—	植付前		30秒間種いも浸漬	1回
			250~300 mL/種いも 10kg			種いも散布	
花き類 (りんどうを除く)	発芽促進	ジベレリン 50~ 200ppm	—	は種前		種子浸漬	
りんどう		ジベレリン 50~ 200ppm		は種前		種子浸漬	
	りんどう	生育促進	ジベレリン 100ppm	50~150 L/10a	定植直前または 定植1~5週間後	1回	茎葉散布
1株当り 5~10mL				収穫後	切株散布		
かぼ	生育促進	ジベレリン 50ppm	—	植付時		球根浸漬	2回以内
50~150 L/10a			花茎伸長期	茎葉散布			
ジベレリン 50~ 100ppm		30~40 L/10a	生育期間中に ゼット化した時			1回	
ジベレリン 25ppm		1株当り 1mL	活着直後又は萌芽期				
アリス		ジベレリン 50~ 100ppm	—	植付時		球根浸漬	

作物名	使用目的	使用濃度	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジベレリンを含む農薬の総使用回数
シクラメン	開花促進	ジベレリン 1～5ppm	1株当たり 2～5mL	9月中・下旬	1回	花蕾を含む芽の 中心部に散布	1回
ブリンダ (マラコイデス)		ジベレリン 10～20ppm		11月上旬頃の 花蕾出現直後		株の中心部に散布	
チュリップ (促成栽培)		ジベレリン 400ppm	1球当たり 1mL	草丈7～20cmの 時に7日間隔	2回以内	筒状の葉の中心部に滴 下	2回以内
スパティフィラム		ジベレリン 250～ 500ppm	30～40 L/10a	出荷予定期の 2～3ヶ月前	1回	茎葉散布	1回
みやこわすれ	開花促進 草丈伸長促進	ジベレリン 50～ 100ppm	1株当たり 10～15mL	1月中旬の 保温開始時から 7～10日間隔	3回	葉面散布	3回以内
きく		ジベレリン 25～ 100ppm	50～100 L/10a	生育期	2回以内	茎葉散布	2回以内
しらん		ジベレリン 50ppm	—	植付時	1回	30分間株浸漬	1回
アザレア	開花促進	ジベレリン 250～ 500ppm	30～40 L/10a	開花予定日 約1ヶ月前		茎葉散布	
さつき (施設栽培苗)	茎の伸長促進 花芽分化の 抑制	ジベレリン 100～ 200ppm	50～100 L/10a	茎の伸長初期 ～伸長終期 (開花盛期以降) 1～2週間間隔	3回	頂芽に十分散布	3回以内
さくら (切り枝促成 栽培)	休眠打破に よる生育促進	ジベレリン 25～50ppm	50～200 L/10a	休眠期	1回	切り枝全面散布	1回
			—			切り枝浸漬	

使用期限：5年